地元の多様性を 反映したクラブに: 多様性調査



ロータリーでは、多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) の実践に力を入れています。クラブに多様性があるかどうかは、地元のさまざまな職業、年齢、人種などの要因をどの程度反映しているか、ジェンダーのバランスが取れているかを評価することで判断できます。この評価によって、クラブの会員基盤にどのような属性、スキル、経験を持つ人が少ないかが明らかになり、対策を立てやすくなります。同時に、会員一人ひとりが必要とするサポートを提供し、全員が同等の体験ができるようにすることも同じくらい重要です。これが「公平さ」です。ロータリーが常に目指しているのは、それぞれの違いが尊重され、サポートされ、大切にされるインクルーシブな文化を培うことです。

目的

次のような目的のため、この多様性調査を実施し、その結果に基づいて対応しましょう。

- 地元社会の多様性に対する会員の意識を高める
- 多様な会員が集まるクラブにするために、会員へのサポート体制を整える
- 地元の実態を反映したクラブとなるよう調整する

準備

多様性とクラブ向け推奨事項について学ぶために、ラーニングセンターで<u>インクルーシブなクラブの文化を培う</u>、マイクロアグレッション、多様性のあるクラブを築くの各コースを利用してください。次に、どのように評価を行うかを計画します(例:例会中に「会員多様性調査」の各ステップを実施する、など)。補遺1の「クラブの行動計画」を使用して、進捗を記録しましょう。

評価を行う際には、多様性の大切さを十分に理解し、それを会員に説明できる人(外部のDEI専門家など)が進行を担当することをお勧めします。大切なのは、クラブの全会員がこのプロセスに参加し、当事者として協力することです。これにより、会員の意識が高まり、今後のクラブの決定や活動に対するサポートが厚くなります。



クラブの多様化とは、 単にさまざまなと会員 を集めるだけではいません。誰もがす 重され、歓迎されるかられると感じられると感じられる。 でなければ、会しまいます。



クラブや地域社会の 多様性を評価する際 は、細かな配慮がして ください。複数の民 に属する人や、見た に属する人や、見た ではわからないまや いのある人もいまや も認などにして いいのようにしてください。

はじめよう

ステップ1:多様な会員基盤をもつことのメリットを検討

多様な会員が集まることの利点について話し合います。例えば、活動の成功事例など、過去の実例があればそれを思い出してみましょう。または、特定の人を除外する可能性のあるクラブ細則を会員に指摘してもらい、クラブがその点をどのように変更できるかを考えます。多様な視点が、地元のニーズへのクラブの対応力にどのように役立つかを話し合います。クラブの会員構成に地元の職業、ジェンダー、年齢、文化、民族が反映されているかどうかを再確認しましょう。

ステップ2:情報を収集

次の例会では、ステップ1で検討したこと(会員多様化のメリット)を再確認します。このステップでは、地元の社会構成を年齢、ジェンダー、所得水準、民族、性的指向などを考慮して詳しく把握するために、地元の人口統計を調査することであると説明します。「会員多様性に関するワークシート」を会員に配布し、いくつかのグループに分かれて以下の情報を収集します。次回の例会までにワークシートに記入してもらいます。例えば、次のように四つのグループに分けます。

- グループ1: 商工会議所などの地元団体から、地元に存在する業種や職業の情報を入手する
- グループ2: 地元の観光局から、地元の文化やその他の人口統計に関する情報を 入手する
- グループ3: 地元の開発振興課や経済開発専門家から、地元の経済に関する統計を入手する
- グループ4: 地元住民の年齢、性別、職業、民族的アイデンティティなど、最新の国 勢調査の結果を入手する

ステップ3:各グループで集めた情報を検討

次の会合では、グループごとに収集した情報について話し合い、ワークシートに記入した内容を共有し、調査結果をまとめます。その後、各グループから次回の例会で結果を発表する人を一人選びます。このステップの目標は、地元社会の多様性に関する信頼性の高いデータを入手することです。

ステップ4: 結果を報告し、影響を検討

例会で各グループが5分ほどで結果を発表し、その内容を基に、クラブが以下の 点を反映しているかどうかについて全体討論を行います。

- 地元の年齢構成
- 地元の職業人のジェンダー比率
- 地元の文化的・民族的多様性
- 地元のさまざまな経済レベル
- 地元に存在する職業や業種
- 地元の障がいのある職業人の割合

ステップ5:会員の多様性に関する行動計画を立案

クラブの会員構成に反映されていないのはどのような人かを把握したら、次に該当する地元の人たちを見つけ、関係を築く方法を見つけます。クラブに招いて卓話をしてもらい、地元の問題やニーズに対する見解、体験談、協力して取り組める問題について話してもらいましょう。これらの人がクラブ入会に関心があるかどうか、クラブにどのように貢献できるか、クラブが何を提供できるか、どのようにニーズに対応できるかを判断します。計画を文書化し、会員増強委員会やその他のクラブ会員にタスクを割り当てます。計画を文書化し、会員増強委員会やその他の会員にタスクを割り当て、会員多様化の目標を設定したうえで、会員に進捗状況を随時伝えましょう。



会員関心事アンケート

入会候補者情報の収集

会員維持調查•分析

会員満足度アンケート

退会者アンケート

補遺1の「クラブの行動計画」を使用して、会員増強の取り組みを記録しましょう。



スケジュールを組む際には、あらかじめ十分な時間を見積もっておきましょう。各ステップに1週間以上かかる場合もあります。

会員多様性に関する ワークシート

1.	どの情報源を使って地元の人口統計を調べましたか。
2.	どのようなデータが見つかりましたか。 年齢:
	ジェンダー:
	国籍/出身国:
	民族的背景:

	職業:
	性的指向:
	障がい者:
	社会経済的地位:
3.	このデータは、クラブの現在の会員構成と一致していますか。その根拠についてご説明ください。
4.	調査の結果から分かった事実や統計のうち、最も興味深い点は何ですか。

5.	予想と違っていたことは何ですか。
6.	予想と一致していたことは何ですか。
7.	也元の人口構成と比較した場合、クラブにどのような人が不足していますか。
8.	也元の人口構成をクラブに反映させるには、どうしたらよいでしょうか。
9.	見在、クラブに不足しているグループの人びとは、クラブで歓迎してもらえると感じると思いますか。

10.	. クラブの資料、ウェブサイ	ト、ソーシャルメディ	ア投稿は、クラブ会	員の多様性を示してい	いますか。
11.	. クラブの会員増強行動計[画に、これらの調査	結果をどのように盛	りこむことができます	⁻ か。